

資料

あ行**【IM比】**

「Incidence Mortality」の略。地域がん登録事業において、地域内の真の罹患数のうち、どれだけが登録されているかを示す指標の一つ。罹患数と死亡数との比。登録の完全性が低いと、IM比は低くなる。

【アテローム血栓性脳梗塞】

脳の太い血管（動脈）が詰まってしまうことで起こる脳梗塞のこと。

【アドボケーター】

患者の権利や利益を守るため、患者サイドに立って、患者の支援や、病院との調整などをする病院職員。

【rt-PA】

遺伝子操作で人工的に作られた t-PA、脳梗塞の原因である血栓を溶かし、脳梗塞を治療するための医薬品。「Recombinant Tissue Plasminogen Activator」の略

【アルツハイマー型認知症】

全認知症の 50～60%にみられる頻度の高い疾患。脳の中の記憶に関係する部位（海馬や頭頂葉一側頭葉）にアミロイドというたんぱく質の一種が蓄積していくことが病気の始まりと考えられている。症状の特徴として、最近経験した出来事を忘れる、記憶がない（記憶障害）、場所や時間の感覚があいまいになる（見当識障害）、仕事を計画的に行うことが難しくなる（遂行機能障害）がある。

【1型糖尿病】

膵臓（すいぞう）のランゲルハンス島でインスリンを分泌しているβ細胞が死滅を原因とする糖尿病。その原因は主に自分の免疫細胞が自らの膵臓を攻撃するためと考えられているが（自己免疫性）、まれに自己免疫反応の証拠のない1型糖尿病もみられる（特発性）。

【一般病床】

病院又は診療所の病床のうち、精神病床、感染症病床、結核病床及び療養病床以外のもの。

【医療型障害児入所施設】

入所等する障害児のうち知的障害児、肢体不自由児及び重症心身障害児に対する保護、日常生活の指導、独立に必要な知識技能の付与及び治療を目的とする施設。

【医療保護入院】

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律で定められた入院形態の一つ。精神保健指定医の診察の結果、精神障害者であり、医療及び保護のために入院が必要と診断されたが、その精神障害のために

本人の同意に基づく入院が行われる状態にないと判断された場合、保護者の同意により入院させることができるもの。

【インスリン治療】

糖尿病の薬物療法。膵臓からの分泌が不足する分のインスリンを注射により体内へ取り入れ、血糖値を下げ、血糖コントロールを行う。患者自身がインスリン注射を行うことが多い。

【院内がん登録】

病院で診断されたり、治療されたりしたすべての患者のがんについての情報を、診療科を問わず病院全体で集め、その病院のがん診療がどのように行われているかを明らかにする調査。

【運動耐容能】

身体運動負荷に耐えるために必要な、呼吸や心血管系の能力に関する機能。

【エイズ患者】

診断時の検査によりHIV（ヒト免疫不全ウイルス）への感染が確認され、かつ、23 あるエイズ指標疾患のうち一つ以上の臨床的特徴が認められると医師により診断された者。

【エイズ予防ウィーク in NAGANO】

厚生労働省が主唱する「HIV検査普及週間」（6月1日～7日）に合わせ、毎年、長野県が6月1日から7日にかけて啓発、相談及び検査を重点的に実施している週間。

【衛生検査技師】

国家資格のひとつ。血液や尿などの検体検査を行う医療専門職。

【HIV感染者】

診断時の検査によりHIV（ヒト免疫不全ウイルス）への感染が確認された者であって、23 あるエイズ指標疾患の臨床的特徴を有しないと医師により診断された者。

【HIV検査】

HIV（ヒト免疫不全ウイルス）への感染の有無を調べる検査。「エイズ検査」と呼ぶ場合もある。ただし、HIVに感染してから3か月程度の期間（「ウィンドウ期」と呼ぶ。）を経てからでないと、この検査で見つけることはできないので、注意が必要。なお、エイズ発症の有無は医師により診断される。

【壊死】

生体の一部の組織・細胞が死ぬこと。

【MRI】

「Magnetic Resonance Imaging」の略。体内にある細胞の磁気性を利用し、臓器の情報を画像化する検査機器又は検査方法。

【MDMA】

化学物質「3,4-methylenedioxymethamphetamine」の略。3, 4-メチレンジオキシメタンフェタミンのこと。合成麻薬の一種で、カラフルな錠剤型をし、精神毒性があり、幻覚・幻聴や様々な障害を引き起こす薬物。

【往診】

患家又はその家族の求めに応じて(事前の連絡なしに、突然(緊急))患者の家に赴き診療を行うこと。

か行**【介護福祉士】**

国家資格のひとつ。心身の障害により日常生活に支障がある者に介護を行うと共に、その者及びその介護者に対して介護に関する指導を行う。

【回復期リハビリテーション病棟入院料】

脳血管疾患、大腿(たい)骨頸(けい)部骨折等の患者を対象として、食事やトイレの使用など日常動作の能力向上による寝たきり防止と家庭復帰を目的に集中的なリハビリテーションを行う病棟で算定される診療報酬。

【外来化学療法】

専用の治療室において、主に在宅で療養するがん患者を対象に、抗がん剤による治療などを医療機関が行う薬物療法。病床を有する専用の治療室の設置、専任の常勤看護師及び専任の常勤薬剤師の配置等が必要とされる。

【外来緩和ケア】

専用の治療室において、主に在宅で療養するがん患者を対象に、緩和ケアを医療機関が行う薬物療法。病床を有する専用の治療室の設置、専任の常勤看護師及び専任の常勤薬剤師の配置等が必要とされる。

【合併症妊娠】

子宮筋腫、高血圧、糖尿病などの病気を持った女性が妊娠すること、または、妊娠中に発症すること。

【がん診療連携協議会】

都道府県がん診療連携拠点病院が設置する協議会。長野県では平成19年(2007年)2月にがん診療連携拠点病院、医師会、県からなる協議会が設置され、4つの部会(情報連携、がん登録、緩和ケア、研修教育)が置かれている。

【がん診療連携拠点病院】

国が都道府県の推薦を受け指定するがん診療の中核的な病院。主な指定要件は、集学的治療の実施、緩和ケアチームの設置、がん相談支援センターの設置、院内がん登録の実施等。

【感染症病床】

病院の病床のうち、感染症法に規定する一類感染症（エボラ出血熱など）、二類感染症（急性灰白髄炎など。ただし、結核を除く。）、指定感染症及び新感染症（未知の感染症で重大な影響を与えるおそれがあるもの）の患者・感染者を入院させるためのもの。

【感染症法】

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律第114号）の略称。

【がん性疼痛（とうつう）】

がんが組織に広がり神経を圧迫する場合や、骨への転移等により生じる痛み。

【がん対策推進協議会】

がん患者、医療関係者、関係団体の代表から構成される、がんの総合的な施策について検討を行う場。

【冠動脈】

心臓の周囲を取り巻いている動脈。心臓の筋肉に酸素や栄養を運ぶ役割を果たしている。

【冠動脈ステント留置術】

ステントという小さな網目状の金属の筒を血管に置くことにより、狭くなった部分を筒が支えて血管の中が広がった状態を保持する。

【冠動脈造影検査（心臓カテーテル検査）】

合成樹脂でできた細長い管（カテーテル）を腕や大腿（だいたい）の動脈から入れて心臓まで到達させ、造影剤をカテーテルを通して冠動脈（心臓の周りの動脈）に流し込んでエックス線撮影することにより、心臓の働きや疾病の種類・重症度を診断する検査。

【冠動脈バイパス術】

冠動脈（心臓の周りの動脈）が詰まることなどにより心筋への血流が阻害された場合に、詰まっている部分を避けて血管をつなぎ、血流の回復を図る手術。

【緩和ケア】

がんなどに伴う身体や精神の問題を単に病気に対する医療としてだけでなく、社会生活あるいは家族まで含めて全体的に患者を支える医療のこと。

【緩和ケアチーム】

医師、看護師、薬剤師、栄養士、臨床心理士、医療ソーシャルワーカー等で構成された緩和ケア

を実施するチーム。

【緩和ケア病棟】

がん患者が入院する緩和ケア病棟で、担当の常勤医師、夜間の複数看護師が配置される。

【義肢装具士】

国家資格のひとつ。医師の処方に基づき、装着部位の採寸、義肢装具の製作、適合・調整などを行う医療専門職。

【基礎疾患】

予防接種を行うに当たり、注意が必要とされる疾患で、先天性の心臓の病気、生まれつき免疫が弱い、アレルギー体質がある、てんかん、腎臓病などの持病を指す。

【カンサーボード】

手術、放射線療法及び化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師その他の専門を異にする医師等によるがん患者の症状、状態及び治療方針等を意見交換・共有・検討・確認等するためのカンファレンスをいう。

【QOL】

「Quality Of Life」の略。患者の生活の質を向上させることを尺度として捉える概念。

【救急救命士】

傷病者に対して救急車で病院に到着するまでの間、医師の具体的、包括的指示のもとで救急救命処置を行うことができる資格者のこと。

【救急蘇生法】

呼吸や心臓が停止またはそれに近い状態にある傷病者に対して心肺機能を補助するために行う救急救命処置。状態を確認しながら、意識の確認・気道確保・人工呼吸・心臓マッサージ・AED（自動対外式除細動器）による除細動などを行う。心肺蘇生法。

【休日夜間急患センター】

休日及び夜間に初期救急医療を行うことを目的として開設された医療機関。

【急性心筋梗塞】

心臓の周りの血管がつまることにより心筋へ血液が送られなくなり、心筋が壊死して心臓機能が低下する疾患。

【救命救急センター】

心筋梗塞、脳卒中、頭部損傷等の重篤救急患者の救命医療を行うことを目的に設置された施設で、高度な救急医療を24時間体制で提供できる機能を有するもの。

【教育入院】

主に糖尿病患者を対象とする治療目的ではなく、自己管理能力向上のための入院。患者・家族が糖尿病について正しく理解し、自己管理するために2週間程度入院し、糖尿病療養指導士を中心とした医療チームの指導を受ける。

【境界型糖尿病】

血糖値が正常より高いが糖尿病と診断されない状態。糖尿病に進行するリスクがある。

【虚血性心疾患】

冠動脈（心臓の周りの動脈）が詰まることなどにより心筋への血流が阻害され、心臓に障害が起こる疾患の総称。急性心筋梗塞や狭心症が含まれる。

【クリティカルパス】

診療計画のこと。医療が標準化されることにより、医療の質の向上、効率化、医療安全対策、インフォームド・コンセント等に寄与することが期待される。

（地域連携クリティカルパス：地域内で各医療機関が共有する、患者に対する治療開始から終了までの全体的な治療計画）

【経皮的冠動脈形成術】

身体に大きな傷をつけることなく狭くなった冠動脈（心臓の周りの動脈）を広げるために行う治療法。足の付け根の大腿（だいたい）動脈などから「カテーテル」という細い管を入れ、冠動脈の狭くなったところまで進めて治療を行う。バルーン血管形成術や冠動脈ステント留置術がある。

【血液生化学検査】

血液を遠心分離器にかけて、有形成分（赤血球、白血球、血小板など）や無形成分（血清）とに分離し、血清中の物質を化学的に分析する検査。病気の診断や治療の判定、病状の経過観察に必要。

【結核病床】

病院の病床のうち、感染症法に規定する結核の患者を入院させるためのもの。

【結核基準病床数】

結核病床の基準病床数は、都道府県の区域ごとに結核の予防及び結核患者に対する適正な医療の提供を図るため必要なものとして、都道府県知事が5年ごとに定める数。具体的には、（1日当たりの入院勧告患者数）×（年間発生数、地域の事情による調整）＋（慢性排菌患者の入院者数）により算定する。

【結核罹患（りかん）率】

1年間に新たに登録された結核患者数をその区域（国又は県）の人口で除し、人口10万人当たりで算出した率。この率が、100以上であれば、高まん延、10～100であれば、中まん延、10を下回

れば低まん延、と言われる。

【血漿（けっしょう）分画製剤】

血液中の液体成分である血漿（けっしょう）中に含まれる各種たんぱく質を変質させることなく物理的、化学的に分離し製造した医薬品。

【血清クレアチニン】

アミノ酸の一種であるクレアチンが代謝されたあとの老廃物。筋肉量が多いほどその量も多くなるため、基準値には男女差がある。腎臓でろ過されて尿中に排泄される。数値が高いと、腎臓の機能が低下していることを意味し、尿タンパクとともに慢性腎臓病（CKD）の指標となる。

【血栓】

血管の中で血液が固まったもの。血栓が血管内に形成され、その先の血流が妨げられることにより、心筋梗塞、脳梗塞などの重大な疾病を招く恐れがある。

【血栓溶解療法】

脳梗塞などの急性期に薬物により血栓を溶解する治療法。

【血糖パターンマネジメント】

数日間の血糖値のパターンを読み取り、インスリンの調整だけでなく食事、運動、ストレスなど包括的に評価し、血糖改善のための生活指導に利用する。

【言語聴覚士】

国家資格のひとつ。音声機能、言語機能または聴覚に障害のある者に対し、検査や機能向上のための訓練等を行う。S T（Speech-Language-Hearing Therapist）と略すこともある。

【後発医薬品】

最初に開発した薬（先発医薬品）の特許期限が過ぎた後に、同じ成分、同じ含量で作られ、先発医薬品より価格が安い薬。ジェネリック医薬品とも言う。

【誤嚥（ごえん）性肺炎】

細菌が唾液や胃液と共に肺に流れ込んで生じる肺炎。咳（せき）反射や嚥下（えんげ）反射が低下したことにより、知らない間に細菌が唾液と共に肺に流れ込み、この細菌が肺の中で増殖して肺炎を引き起こす。

さ行

【再興感染症】

世界保健機関（WHO）により、1990年に「かつて存在した感染症で公衆衛生上ほとんど問題とならないようになっていたが、近年再び増加してきたもの、あるいは将来的に再び問題となる可能性がある感染症」と定義された。具体的には、結核、マラリア、デング熱、狂犬病、黄色ブドウ球菌感

染症などがある。

【在宅当番医制】

市町村及び一部事務組合の委託により、郡市医師会の医師が自院において当番制で夜間休日診療を実施する体制のこと。初期救急医療を行うとともに、入院治療が必要な患者を判別し、二次救急医療機関等へ搬送する機能を果たしている。

【在宅訪問診療】

居家で療養を行っている患者で、通院による療養が困難な場合に、計画的な医学管理の下に定期的な訪問をして診療を行うこと。

【在宅療養支援歯科診療所】

診療報酬上の施設基準の要件を満たし、在宅等の療養に関して歯科医療面から支援できる体制等を確保している歯科診療所（平成 20 年度診療報酬改定により新設）。

【在宅療養支援診療所】

在宅医療の主たる担い手として、必要に応じて他の病院、診療所、薬局、訪問看護ステーション等との連携を図りつつ 24 時間 365 日体制で往診や訪問看護を行う一般診療所（平成 18 年度診療報酬改定により新設）。平成 24 年度の診療報酬の改定により、24 時間の対応、緊急時の対応を充実させる観点から、複数の医師が在籍し、緊急往診と看取りの実績を有する医療機関（複数の医療機関が連携して要件を満たすことも可）について、評価の引き上げが行われた。なお、病床を有する場合は更に高い評価とされた。

【在宅療養支援病院】

診療所のない地域において、在宅医療の主たる担い手として、必要に応じて他の病院、診療所、薬局、訪問看護ステーション等との連携を図りつつ 24 時間 365 日体制で往診や訪問看護を行う 200 床未満の病院（平成 20 年度診療報酬改定により新設）。

【作業療法士】

国家資格のひとつ。心身に障害のある人、またはそれが予測される人に対して、作業活動を用いて、機能の回復や維持、または開発を支援する医療専門職。OT（Occupational Therapist）と略すこともある。

【産後うつ】

出産後 1～2 週間、あるいは数か月以内に、気分が沈み、日常生活の中で興味や喜びがなくなる、不眠、必要以上に罪悪感を抱いて自分を責めるなどの状態が 2 週間以上続き、育児や家事に支障をきたすような場合をいう。産婦の 10%～20%の頻度で生じると言われており、早期発見し育児援助や治療などを受けることが重要。

なお、産後直後から数日後頃までにみられる、気分が変わりやすい、涙もろくなるなどのマタニティーブルーは一過性の場合が多いが、産後うつへ移行することもあるので周囲の見守りが大切。

【CT】

「Computed Tomography」の略。エックス線による画像をコンピュータで解析し、胸部、腹部等を断層（輪切り）画像として調べる検査機器又は検査方法。

【GFR】

糸球体濾過（ろか）量：尿は通常、腎臓の糸球体というところで血液を濾過し作られる。腎臓のこの「老廃物を尿へ排泄する能力」がどのくらいあるかを示した数値。この値が低いと腎臓の働きが悪いということになる。

【脂質異常】

血液中に含まれるコレステロールや中性脂肪（トリグリセライド）などの脂質が、一定の基準よりも多い状態。

【児童相談所】

0歳から18歳未満の者(児童)に関する様々な問題について家庭や学校などからの、養護・保健・障害・非行・育成に大別される相談に応じる児童福祉の専門機関。

【自動対外式除細動器（AED）】

心室細動を起こした人に取り付け、電気ショックを与えて心臓の働きを取り戻すための救命機器。平成17年から一般人の使用も認められ、機械の音声指示に従って操作する。AEDは「Automated External Defibrillator」の略。

【視能訓練士】

国家資格のひとつ。医師の指示のもとに視機能検査や、斜視や弱視等の訓練治療に従事する。

【社会福祉士】

国家資格のひとつ。心身の障害または環境上の理由により、日常生活に支障がある人の相談に応じ、助言・指導を行うと共に、関係者との連絡・調整や援助を行う。

【柔道整復師】

国家資格のひとつ。一般的に、ほねつぎ、整骨師、接骨師として知られ、骨折、脱臼、捻挫、打撲、挫傷（筋・腱の損傷）などの治療を行う。

【周産期】

妊娠後期（妊娠満22週以降）から新生児早期（生後1週未満）までの出産前後の時期。

【周産期死亡】

妊娠後期（妊娠満22週以降）の死産及び新生児早期（生後1週未満）の死亡。

【集中治療室（ICU）】

手術直後や重症の患者を集中的に治療・看護する施設のこと。呼吸、循環、代謝その他の重篤な急性機能不全の患者の容態を24時間体制で管理し、より効果的な治療を施すことを目的とし、特定の診療科に属さず独立した組織で患者を管理する体制が一般的。ICUは「Intensive Care Unit」の略。

【受療率】

ある特定の日に疾病治療のために、すべての医療施設に入院あるいは通院、又は往診を受けた人口10万人当たりの患者数。厚生労働省が行う「患者調査」により全国推計患者数を把握し算出する。

【準無医地区・準無歯科医地区】

無医地区、無歯科医地区以外で、同地区に準じた医療の確保が必要として、知事が認めた地区。

【小児】

0歳から14歳までの子ども。

【小児集中治療室（PICU）】

心臓病をはじめとする重度の疾患の小児患者や、救急搬送された重篤な小児患者のために、小児専門病院や特定機能病院に設置されている集中治療室。PICUは「Pediatric Intensive Care Unit」の略。

【小児慢性特定疾患】

子どもの慢性疾患のうち、小児がんや慢性腎炎など、治療期間が長く、医療費負担が高額となることから、児童の健全育成、疾患の治療方法の確立と普及、患者家庭の医療費の負担軽減につながるよう、医療費への自己負担分が補助される特定の疾患のこと。11疾患群514疾患が対象。

【心エコー検査】

人の耳には聞こえないほどの高周波数の超音波を心臓に発信して、返ってくるエコー（反射波）を受診し、心臓の様子を画像に映し出して診断する検査。

【新型インフルエンザ等感染症】

次のいずれかに該当するものをいう。

- ・ 新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を有することとなったウイルスを病原体とするインフルエンザであって、一般に国民が当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、当該感染症の全国的かつ急速なまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。)
- ・ 再興型インフルエンザ(かつて世界的規模で流行したインフルエンザであってその後流行することなく長期間が経過しているものとして厚生労働大臣が定めるものが再興したものであって、一般に現在の国民の大部分が当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、当該感染症の全国的かつ急速なまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。)

【心筋梗塞の専用病室（CCU）】

手術直後や重症の心筋梗塞等の患者を集中的に治療・看護する施設。CCUは「Coronary Care Unit」の略。

【新興感染症】

世界保健機関（WHO）により 1990 年に「かつては知られていなかった、この 20 年間に新しく認識された感染症で、局地的に、あるいは国際的に公衆衛生上の問題となる感染症」と定義された。即ち、1970 年以降に新たに出現した感染症をいい、エイズ、エボラ出血熱、ラッサ熱など 30 以上の感染症がこれに該当する。

【人工透析】

腎不全が進行し、腎臓が機能しなくなった場合に、血液を浄化する治療。血液透析と腹膜透析の 2 種類がある。

【診診連携】

診療所と診療所との相互の医療連携。

【新生児】

出生後 4 週間（28 日）未満の子ども。

【新生児集中治療室（NICU）】

新生児用の集中治療室のこと。産婦人科に併設され、新生児のうち極低出生体重児や仮死新生児などを対象とした施設。NICUは「Neonatal Intensive Care Unit」の略。

【心肺蘇生法】

呼吸や心臓が停止またはそれに近い状態にある傷病者に対して心肺機能を補助するために行う救急救命処置。状態を確認しながら、意識の確認・気道確保・人工呼吸・心臓マッサージ・AED（自動対外式除細動器）による除細動などを行う。救急蘇生法。

【診療所】

医師又は歯科医師が、公衆又は特定多数人のために医業又は歯科医業を行う場所であって、患者を入院させるための施設を有しないもの又は 19 人以下の患者を入院させるための施設を有するもの。

【診療情報管理士】

4 病院団体協議会（日本病院会、全日本病院協議会、日本医療法人協会、日本精神科病院協会）および医療研修推進財団による民間資格。診療録情報を活用することにより、医療の安全管理、質の向上および病院の経営管理などに携わる専門職。

【診療放射線技師】

国家資格のひとつ。医師・歯科医師の指示のもとに、エックス線撮影装置・超音波装置・CT・MRI などの機器により検査等を行う。

【精神病床】

病院の病床のうち、精神疾患を有する者を入院させるためのもの。

【精神科救急情報センター】

精神障害者及びその家族等からの緊急的な精神医療相談に 24 時間体制で電話により応じることに
より、精神障害者の症状緩和を図るための適切な対応と、必要に応じて医療機関の紹介や受診指導を
実施している（電話番号：0265-81-9900 受付時間：24 時間 365 日対応）。

【精神保健福祉士】

国家資格のひとつ。精神科病院や福祉施設等で、精神に障害を持つ人などの社会復帰を支援するた
めに、助言・指導や訓練を行う。

【生存率】

ある一定の期間経過した集団について、その時点で生存している患者の割合のことで、通常は百分
比（%）で示される。生存率は、治療の効果を判定する最も重要かつ客観的な指標。がんの種類や比
較などの目的に応じて、1年、2年、3年、5年、10年生存率が用いられる。

【精度管理】

がん検診の方法が有効かつ効率的に行われているかを「受診率」、「要精検率」、「がん発見率」等の
指標において点検し評価すること。

【世界エイズデー普及啓発週間】

世界保健機関（WHO）による「世界エイズデー」（12月1日）と、性の健康科学財団が厚生労働
省等の後援を受けて実施している「性の健康週間」（11月25日～12月1日）に合わせ、毎年、長野
県が11月25日から12月1日にかけて啓発、相談及び検査を重点的に実施している週間。

【セカンドオピニオン】

診断や治療方法について主治医以外の医師の意見を聞くこと。

【摂食・嚥下（せつしょく・えんげ）リハビリテーション】

食物の摂り込みや食塊の飲み込み等の機能が低下した患者に対し、口腔ケアや訓練等により機能維
持・向上を図ること。

【セルフメディケーション】

世界保健機関（WHO）によると、自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当
てすることとされている。近年、薬剤師などの専門家による適切な情報提供により、身近にある一般用
医薬品を利用する考え方がみられるようになってきている。

【潜在性結核感染症患者】

明らかな臨床的症候を有さず、細菌学的検査や胸部画像検査（胸部X線・CT等）でも結核を示唆する所見はないが、リンパ球の菌特異蛋白刺激によるインターフェロン γ 試験やツベルクリン反応検査により結核菌に感染していることが確認され、治療を必要とする患者。

【先天性疾患】

生まれた時から持っている疾患。生物学的に一定の割合で発生するもので、治療やリハビリテーションと療育によって発育や発達を促したり、心疾患のように手術により治療する場合もある。

【前頭側頭型認知症】

脳の前頭葉や側頭葉前方の萎縮が目立ち、ほとんどが65歳以下で発症。症状の特徴として、性格変化と社交性の消失が初期からみられるのに対し、記憶障害は目立たない。代表的な疾患としてピック病がある。

【専門看護師】

日本看護協会の専門看護師認定試験に合格し、より困難で複雑な健康問題を抱えた人、家族、地域等に対してより質の高い看護を提供するための知識や技術を備えた特定の専門看護分野において卓越した看護実践能力を有する看護師。

【総合医】

「臓器・疾患を問わず、幅広く患者に対応できる医師」とされているが、現在厚生労働省の「専門医の在り方に関する検討会」において、総合的な診療能力を有する医師の名称（総合医・総合診療医）及び定義等を含めその在り方について検討がなされている。

【咀嚼（そしゃく）】

食物を飲み込める程度にまでかむこと。

【措置入院】

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律で定められた入院形態の一つ。「精神障害のために自身を傷つけ、または他人に害を及ぼすおそれがある」者に対して、2名の精神保健指定医による診察を行い、いずれも精神障害者であり、かつ、医療及び保護のために入院させる必要があると判定された場合、都道府県知事の命令により、本人の同意に基づかない強制的な入院措置を行うもの。

なお、急速を要し、精神保健指定医1名の診察となる場合には、72時間に限った緊急措置入院が行われる。

た行**【退院調整支援担当者】**

「基本診療科の施設基準等」（平成20年厚生労働省告示第62号）に規定する「退院調整加算」の施設基準を満たしているもの（厚生局への届出の有無は問わない。）のことをいう。具体的には、病院において以下の基準を満たしている場合に、退院調整支援担当者として計上される。

- ・ 入院患者の退院調整に関する部門が設置されていること

- ・ 退院調整に関する部門に退院調整に関して十分な経験を有する専従の看護師又は社会福祉士が1名以上配置されていること

【胎児・新生児異常】

胎児、新生児に先天異常、子宮内胎児発育遅延等何らかの異常があること。

【多剤耐性結核】

抗結核薬のうち、イソニアジド（INH）及びリファンピシン（RFP）に耐性をもつ結核菌による結核。

【多要素リハビリテーション】

心疾患の治療や二次的予防に有効となる多要素的な手段を用いたリハビリテーション。身体的トレーニング、心理相談（カウンセリング）・リラクゼーション、食事指導、禁煙指導、復職指導・復職のためのトレーニング、心疾患に関する教育・啓発活動などが含まれる。

【短期療養介護】

療養の必要な高齢者が、介護老人保健施設や介護療養型医療施設などに短期間入所し、看護、医学的管理の下における介護、機能訓練その他の必要な医療や日常生活の世話等のサービス。

【短期生活介護】

比較的自立した高齢者が、老人短期入所施設や特別養護老人ホーム等に短期間入所し、入浴・排泄・食事の介護等の日常生活の世話や機能訓練等のサービス。

【地域医療再生計画】

医師確保や救急医療の強化など、地域における医療課題の解決を図るため、各都道府県に設置された地域医療再生基金を活用して行われる取組の具体的な計画。長野県の計画は全国の中でも高い評価を受けている。

【地域連携クリティカルパス】

【クリティカルパス】の欄を参照。

【チャイルド・ライフ・スペシャリスト】

医療環境にある子どもや家族に、心理社会的支援を提供する専門職であり、子どもや家族が抱えうる精神的負担を軽減し、主体的に医療に臨めるようサポートを行う。

【治療失敗・脱落率】

治療開始後5か月目以降に培養検査陽性となった者（＝治療失敗）及び医師が治療完遂を認める前に2か月以上治療を中断した者（＝治療脱落）の合計数を結核治療患者数で除した割合。

【DCN】

地域がん登録事業において、地域内の真のがん罹患（りかん）数のうち、どれだけのがんが登録さ

れていないかを示す指標の一つで、がん死亡小票で初めて明らかになったがんの割合として表わされる。登録の完全性が低いと、DCNは高くなる。DCNは「Death Certificate Notification」の略。

【DCO】

地域がん登録事業において、事前に登録されず、死亡小票のみで登録されたがんの割合。DCOが高い場合、がん診断精度や、登録の完全性も低くなる。DCOは「Death Certificate Only」の略。

【t-PA】

「Tissue-type Plasminogen Activator」の略。組織型プラスミノゲン活性化因子のこと。血管の表面を被っている血管内皮細胞で作られる物質（酵素）で、体の中で血液の中を流れている「プラスミノゲン」という物質を活性化して「プラスミン」という血栓を溶かす作用を持つ物質に変化させる働きがある。

【電子カルテ】

診療の際に作成された記録を管理・保存するため、電子媒体に記憶させたもの。

【糖尿病看護認定看護師】

糖尿病患者の看護に関して、日本看護協会の認定審査に合格した看護師。血糖コントロール管理や、合併症予防のためのフットケアなどの専門知識・技術を有する看護師。

【糖尿病神経障害】

高血糖が持続することによる末梢神経障害や自律神経障害。手足のしびれや痛み、感覚が鈍くなる、下痢や便秘、顔面神経麻痺などの症状がでる。

【糖尿病腎症】

高血糖が持続することにより、腎臓の濾過（ろか）機能を担う糸球体が損なわれる疾患。進行すると浮腫や血圧上昇を招き、腎不全や尿毒症に移行する。

【糖尿病性昏睡（こんすい）】

インスリン分泌量の不足などのため高血糖状態が続くことにより、のどの渇き、吐き気、頭痛、腹痛、昏睡（こんすい）などの症状を起こす糖尿病の急性合併症。

【糖尿病足病変】

糖尿病に罹患（りかん）している者が、足にできた傷（切り傷、水虫、火傷など）が元になって感染、膿瘍、壊死となる状態。進行すると、足の切断が必要となる場合もある。

【糖尿病網膜症】

高血糖が持続することにより、網膜の毛細血管が障害を受け、破れたり詰まったりする疾患。初期には自覚症状がほとんどなく、進行すると失明に至る場合もある。

【糖尿病療養指導士（CDE）】

糖尿病とその療養指導全般に関する知識を有し、医師の指示のもとで患者に熟練した療養指導を行うことができる医療従事者（看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師及び理学療法士）として、日本糖尿病療養指導士認定機構などの認定を受けた者。CDEは「Certified Diabetes Educator」の略。

【動脈硬化】

動脈にコレステロールや中性脂肪などがたまって、詰まったり、硬くなったりして弾力性や柔軟性を失った状態。動脈硬化が進行すると、心疾患や脳血管疾患を引き起こす恐れがある。

【登録販売者】

都道府県の実施する試験により、一般用医薬品の販売等に必要な資質を有することを確認された者のことを言い、一般用医薬品のうち第2類医薬品と第3類医薬品を販売等することができる。

【特定給食施設】

特定の者に対して継続的に1回100食以上又は1日250食以上の食事を提供する施設として健康増進法により都道府県知事に届け出を規定されている施設。

【ドラッグエルディングステント（薬剤溶出性ステント）】

血管の再狭窄を予防する薬剤がコーティングされたステント（バルーンカテーテルで拡張された血管が再び狭くならないよう、血管内に留置する医療機器）。

その薬剤が徐々に解けていくことにより、血管の開存を維持する効果がより長く持続する。

な行**【7対1入院基本料】**

入院患者7人に対し看護師1人を配置した手厚い看護体制をとっている医療機関が算定する診療報酬上の入院基本料。

【2型糖尿病】

インスリン分泌低下と感受性低下の二つを原因とする糖尿病。

【乳児】

生後1年未満の子ども。

【乳児突然死症候群】

それまで元気だった赤ちゃんが、事故や窒息ではなく眠っている間に突然亡くなる病気。日本での発症頻度はおよそ出生6,000~7,000人に1人と推定され、生後2か月から6か月ごろに多い。

【認知症コールセンター】

認知症の人やそのご家族が悩みを抱え込まないために、認知症について日頃から悩んでいることや

疑問に思っていることなど誰でも気軽に相談できるよう、認知症介護の専門家や介護経験者などの相談員が電話で相談に応じる（電話番号：0268-23-7830、受付時間：午前10時～午後5時（日曜日、祝日、年末年始を除く））。

【認知症疾患医療センター】

都道府県知事の指定により、保健医療・介護機関等と連携を図りながら、認知症疾患に関する鑑別診断、周辺症状と身体合併症に対する急性期治療、専門医療相談等を実施するとともに、地域保健医療・介護関係者への研修を行うことにより地域の認知症疾患の保健医療水準の向上を図る専門医療機関。

【認定看護師】

日本看護協会の認定看護師認定審査に合格し、特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて、水準の高い看護が実践できる看護師。

【年齢調整死亡率】

死亡数を人口で除した死亡率については、各地域の年齢構成に差があるため、高齢者の多い地域で高くなり、若年者の多い地域で低くなる傾向にある。このため、年齢構成の異なる地域間で死亡状況の比較ができるように基準人口（昭和60年モデル人口）で補正した死亡率。

【脳血管疾患】

脳の一部又は全部に、梗塞あるいは出血などによって一過性ないし持続的に障害が起こった状態。

【脳血管疾患等リハビリテーション料】

脳血管疾患等の患者に対して、日常生活における諸活動の自立を図るために、種々の運動療法、実用歩行訓練、日常生活動作訓練、物理療法等のリハビリテーションを行った場合に算定される診療報酬。

【脳血管性認知症】

脳の血管障害（脳梗塞や脳出血など）によって起こる認知症。認知症の症状の他に、歩行障害、手足の麻痺、呂律が回りにくい、感情失禁（感情をコントロールできず、ちょっとしたことで泣いたり、怒ったりする）、夜間せん妄（夜になると意識レベルが低下して別人のような言動をする）などの症状が早期からみられることもしばしばある。

【脳卒中】

血栓が血管に詰まって起こる「脳梗塞」、脳の細い血管が破れて起こる「脳内出血」、脳の血管の分かれ目にできたこぶ（脳動脈瘤）が破れて起こる「くも膜下出血」の総称。

【脳卒中ケアユニット入院医療管理料】

地方厚生局長等に届け出た保険医療機関において、脳梗塞、脳出血又はくも膜下出血の患者に対して、専門の医師等により組織的、計画的に脳卒中ケアユニット入院医療管理が行われた場合に、算定

される診療報酬。

【脳卒中専用集中治療室（SCU）】

手術直後や重症の脳卒中患者を集中的に治療・看護する施設。SCUは「Stroke Care Unit」の略。

は行

【廃用性症候群】

長期に渡る過剰な安静により引き起こされる筋力低下、筋萎縮、拘縮、骨粗しょう症、起立性低血圧、上気道感染症、褥瘡（じょくそう）（床ずれ）、尿路感染症、便秘、食欲不振、体重減少、不安、うつなど、心身のあらゆる機能が低下する状態。生活不活発病とも言う。

【発達障害者（発達障害児）】

発達障害者支援法では、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害であってその症状が通常低年齢において発現するものを「発達障害」と定義し、発達障害を有するために日常生活または社会生活に制限を受ける者を「発達障害者」（このうち18歳未満の者を「発達障害児」とする場合がある）としている。

【バルーン血管形成術】

先端に風船のようなものがついた管（バルーンカテーテル）を冠動脈（心臓の周りの動脈）の狭くなった部分に挿入し、そこで風船を膨らませることにより血管を押し広げる治療。

【ハンセン病】

らい菌による感染症の一種で、慢性炎症性の疾患。しかし、らい菌の感染性や病原性は低く、たとえ感染しても発病することはまれであり、治療薬もある。

【ピア・サポート】

がん体験者ががん患者やその家族に寄り添い、自らの体験を通して相談者の抱えている不安や悩みを軽減、解消するための活動。

【PCR検査】

ポリメラーゼ連鎖反応（Polymerase Chain Reaction）を用いて極少量のDNAを大量に複製し、検査する方法

【病院】

医師又は歯科医師が、公衆又は特定多数人のために医業又は歯科医業を行う場所であって、20人以上の患者を入院させるための施設を有するもの。

【病院群輪番制】

地域の病院が輪番制方式により休日夜間の入院治療を必要とする患者を受け入れる診療体制。

【病診連携】

病院とかかりつけ医等の診療所との医療連携。

【病病連携】

病院と病院との医療連携。

【微量アルブミン尿】

初期の病変(早期腎症)を診断する指標の一つ。糖尿病性腎症の早期発見マーカーとして用いられる。

【複産】

双子、三つ子等の多胎で生まれた出生。

【フットケア】

足の健康や足病変の予防および悪化防止のために看護師などが行うケアの総称。糖尿病による知覚障害がある場合には、靴ずれや傷・低温火傷に気付きにくいことなどから足病変の危険性が高く、末梢血管障害や高血糖による身体防御機能の低下により傷の悪化・回復の遅延が起こりやすいことから、足腫瘍や足壊疽(えそ)を来す危険性が高い。

【不妊】

妊娠を希望する夫婦が、ある一定期間、通常の性生活を行っているにもかかわらず妊娠しない状態をいい、日本では一般的にその期間は2年以上とされている。10組に1組が不妊の状態にあるといわれており、原因は、女性側、男性側にある場合がそれぞれ3割、原因が特定できない場合が4割といわれている。2人目以降を妊娠しない続発性の不妊もある。

【プレネイタルビジット(出産前小児保健指導)】

妊産婦等を対象に、妊産婦の持つ育児不安を解消するために、小児科医などが育児に関する保健指導を行うことにより、こうした不安の解消を図るとともに、生まれてくる子どものかかりつけ医の確保を図るもの。

【へき地医療拠点病院】

へき地医療への支援を行う病院の中から、知事が指定した病院。無医地区に対する巡回診療、へき地診療所に対する医師派遣、代診医派遣等を行う。

【へき地医療支援機構】

へき地医療に係る各種事業を円滑かつ効率的に実施することを目的に、県単位での広域的なへき地医療支援事業の企画・調整等を行う機関。

【へき地診療所】

原則として人口1,000人以上の無医地区等において、住民の医療の確保のために、市町村等が設置する診療所。

【訪問薬剤管理指導】

保険薬局の薬剤師が、医師の指示に基づき、薬学的管理指導計画を策定し、患者宅等を訪問して薬歴管理、服薬指導等を行い、指示を出した医師に対して訪問結果を文書により情報提供すること。

【母体胎児集中治療室（MFIU）】

ハイリスク出産の危険度が高い母体・胎児に対応するための施設と医療スタッフを備えた集中治療室。MFIUは「Maternal Fetal Intensive Care Unit」の略。

ま行

【マンモグラフィ】

乳房のエックス線撮影。乳房は柔らかい組織でできているため、専用のエックス線装置を使って撮影します。

【無医地区、無歯科医地区】

以下の①～③を満たす地区。

- ①医療機関（歯科医療機関）がない地域。
- ②当該地区の中心的な場所を起点として、概ね半径4 kmの区域内に50人以上が居住している地域。
- ③容易に医療機関を利用できない地区（交通機関が1日3往復以下等）

【メディエーター（医療対話促進者）】

医療事故や苦情などの際に、患者と医療者の間で対話の場を作り、双方の意見を聞いて問題解決に導く仲介役。

【メディカルコントロール】

病院前救護の質を保証するため、救急搬送における救急救命士の医行為を医師が指示又は指導及び検証する体制。

や行

【薬局】

薬剤師が処方せんにより調剤を行う場所のことで、医療提供施設として位置づけられている。併せて医薬品の販売を行うことができる。

【有床診療所】

19人以下の患者を入院させるための施設を有する医療機関

【4剤治療】

結核の化学療法で、結核菌が感受性を有する抗結核薬を4剤使用して行う治療方法。結核医療の基準では、初回治療で薬剤耐性結核患者であることが疑われない場合には、イソニアジド（INH）、リファンピシン（RFP）、ピラジナミド（PZA）、ストレプトマイシン（SM）又はエタンプトール（EB）による治療を行うこととされている。

ら行

【ラクナ梗塞】

脳の細い血管（動脈）が詰まってしまふことで起こる脳梗塞のこと。

【理学療法士】

国家資格のひとつ。身体に障害のある人や障害が予測される人に対して、運動療法や物理療法などを用いて、基本動作能力の向上や維持を支援する医療専門職。PT（Physical Therapist）と略すこともある。

【罹患率（りかんりつ）】

ある集団で新たに診断されたがんの数を、その集団のその期間の人口で割った値。通常1年単位で算出され、「人口10万人のうち何例罹患したか」で表現される。

【療育】

障害をもつ子どもが社会的に自立することを目的として行われる医療と保育。

【療養病床】

病院又は診療所の病床のうち、精神病床、感染症病床及び結核病床以外の病床であって、主として長期にわたり療養を必要とする患者を入院させるためのもの。

【臨床検査技師】

国家資格のひとつ。血液や尿などの検体検査や、心電図、エコーなどの生理学的検査などを行う医療専門職。

【臨床研修指定病院】

医師法により、診療に従事しようとする医師は、2年以上、医学部を置く大学に付属する病院又は厚生労働大臣の指定する病院において、臨床研修を受けなければならないとされている。この研修を行う病院として、厚生労働省の審査を受け指定を受けた病院のこと。

【臨床工学技士】

国家資格のひとつ。人工呼吸器や人工心肺装置などの、生命維持管理装置の操作及び保守点検を行う医療専門職。

【臨床心理士】

日本臨床心理士資格認定協会による民間資格。種々の心理テストや心理カウンセリングなどを通じ、心の問題点を明らかにして、助言や指導、支援などを行う。

【レジメン】

診療計画内容のこと。

【レセプト】

患者が受けた診療について、医療機関が公的医療保険の運営者に請求する医療費の明細書。

【レビー小体型認知症】







変性性（脳の神経細胞が原因不明に減少する病態）の認知症の一つでアルツハイマー型認知症について多い認知症。男性が女性より約2倍多い。特徴的な症状として、幻覚、特に幻視・錯視が現れる。

【老人ホーム】

身体上または精神上の障害、家庭環境上および経済上の理由などで居宅での生活が困難な老年者を入所させ、世話をする老人福祉施設の中心である入所施設の総称。老人福祉法（昭和38年法律133号）における老人ホームは、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホームおよび有料老人ホームである。

リボン運動について

リボン運動とは、リボンの色を決め、ある運動の象徴とし、リボンを身につけるなどして意思表示をする活動です。

リボン	趣 旨	実施団体
オレンジリボン	 子どもの虐待防止を普及啓発 (詳細 154 ページ参照)	児童虐待防止全国ネットワーク オレンジリボン事務局
レッドリボン	 エイズに関して偏見をもっていない、 エイズとともに生きる人々を差別しない ことの意味をアピール (詳細 434 ページ参照)	公益財団法人エイズ予防財団
ゴールドリボン	 小児がんに関する啓発活動や治療 研究への支援および小児がん経験 者の QOL 向上のための活動を展開 (詳細 362 ページ参照)	NPO 法人ゴールドリボン・ネッ トワーク、公益財団法人がんの子 どもを守る会
ティール & ホワイトリボン	 子宮頸がんの予防・検診・治療に対 する啓発の推進 (詳細 354 ページ参照)	一般社団法人ティール & ホワイ トリボンプロジェクト
グリーンリボン	 “Gift of life”(いのちの贈りもの)によ って結ばれた臓器提供者(ドナー)と 移植が必要な患者さんのいのちのつ ながりを表現(詳細311ページ参照)	社団法人日本臓器移植ネットワ ーク、全国腎臓病協議会、特定非 営利活動法人日本移植者協議会 日本移植者スポーツ協会など
イエローリボン	 国連で採択された障害者権利条約 を日本国内に広く普及し、障害の ある人びとの社会参加を推進	NPO 日本障害者協議会

【その他のリボン運動】

ピンクリボン運動：乳がんに対する理解と支援のシンボル（認定NPO法人乳房健康研究会、
日本乳がんリボン運動等）

シルバーリボン運動：脳に障害のある者への偏見の払拭
(特定非営利活動法人 シルバーリボンキャンペーン横浜)

パープルリボン運動：国際的な女性に対する暴力根絶運動

*掲載したリボン運動以外にも様々なリボン運動があります。また、定めた団体により同じ色でも趣
旨が異なるリボンもあります。

コラム一覧

番号	コラム名	区 分	ページ
1	人口構造の考え方 (20～69歳を生産年齢人口とした場合の人口推計)	人口構造	16
2	年齢調整死亡率とは	人口動態と平均寿命	18
3	健康寿命とは	目指すべき姿	61
4	ヘルスプロモーション		62
5	健康長寿世界の信州を目指して	基本的な方向性	64
6	健康日本21(第2次)	栄養・食生活	72
7	ロコモとメタボ	身体活動・運動	80
8	高齢者の閉じこもり		81
9	お酒に強い人・弱い人	アルコール	93
10	急性アルコール中毒		94
11	8020運動について	歯科保健	99
12	口腔ケアの重要性		101
13	フッ化物応用とむし歯予防		103
14	たばこと歯周病		103
15	たばこが原因の死亡者数	たばこ	109
16	プリンクマン指数(喫煙指数)		112
17	禁煙外来		113
18	1に運動 2に食事 しっかり禁煙 最後にクスリ	生活習慣病予防(がんを除く)	119
19	すこやか親子21	すこやか親子21	131
20	思春期ピアカウンセラー		131
21	安心の未来を、子供たちへ ～子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)～		137
22	低出生体重児の予防に向けて		139
23	タンデムマス法による先天性代謝異常等検査		141
25	子どもに安全をプレゼント ～子どもの事故防止支援～		142
26	子どもからはじめる生活習慣病対策		144
24	新生児聴覚検査と長野県難聴児支援センター		148
27	子どもが育ち、親も育つ ～地域がつながる子育て支援～		153
28	オレンジリボンについて		154
29	児童虐待の予防に向けて		154
30	ソーシャル・キャピタル	県民参加の健康づくり	155
31	スマート ライフ プロジェクト		157
32	県民の身近な健康支援拠点		158

番号	コラム名	区 分	ページ
33	長野県食生活改善推進員	県民参加の健康づくり	161
34	長野県の保健補導員		162
35	地域医療再生計画	医療圏の区分及び設定	172
36	「医療機能の連携」と「地域連携クリティカルパス」	機能分化と連携	181
37	お薬手帳は有用です	医薬分業・医薬品等の適正使用	188
38	変化する薬局の業務		189
39	学生ボランティアによる献血啓発活動		189
40	信州医師確保総合支援センター	医師	196
41	長野県ドクターバンク事業		197
42	信州型総合医（仮称）		197
43	専門診療科の現状と課題		197
44	歯科医療の専門分科	歯科医師	200
45	病棟薬剤師について	薬剤師	203
46	薬剤師によるドーピング防止活動		204
47	薬学生の実務実習の受入について ～長野県版「わくわく実習」の実施～		204
48	保健師の活動	看護職員	205
49	看護職員の資質の向上		207
50	看護師等の求人情報発信事業		208
51	退職看護職員の登録システムの構築		208
52	専門看護師・認定看護師		209
53	歯科衛生士の役割	歯科衛生士・歯科技工士	212
54	歯医一技工分業		212
55	栄養サポートチーム	管理栄養士・栄養士	214
56	県立病院機構による医療従事者研修の取組	その他の医療従事者	217
57	多様化する医療関係職種		218
58	救急講習	救急医療	224
59	ドクターヘリ		225
60	救急医療と“コンビニ受診”		230
61	リビングウィルと救命救急医療		232
62	DMA T	災害時における医療	235
63	災害時の「お薬手帳」		238
64	巨大地震と長野県		242
65	緊急・災害情報メール		243
66	巡回診療所	へき地の医療	248
67	地域連携モデル	周産期医療	262
68	産婦人科医の確保		263
69	助産師の活動		267

番号	コラム名	区 分	ページ
70	小児救急電話相談（#8000）	小児医療	271
71	小児在宅療養・療育を支える看護職員		274
72	小児患者への支援と連携		276
73	成人医療への移行		276
74	児童虐待について		277
75	小児の予防接種		278
76	在宅療養患者本人の意思を尊重した看取りに向けて	在宅医療	288
77	飯田医師会による事前指示書の取組		289
78	地域包括ケアシステム		292
79	摂食・嚥下リハビリ、口腔ケアに対する飯田下伊那歯科医師会の取組		294
80	在宅医療支援薬局リストと無菌調剤室の共同利用		296
81	在宅医療を担う関係課機関の役割		297
82	歯科における二次医療	歯科医療	302
83	違法ドラッグ	薬物乱用対策	305
84	臓器提供について	その他の保健医療施策	311
85	遠隔医療	医療に関する情報化	319
86	信州メディカルネットの取組		319
87	後発医薬品（ジェネリック医薬品）	後発医薬品の使用促進	326
88	がん予防研修会	がん対策	337
89	多目的コホート研究		339
90	国指針以外のがん検診		345
91	がん検診受診率		346
92	がん検診の精度管理		347
93	ティール&ホワイトリボンについて		354
94	セカンドオピニオン		358
95	ゴールドリボンについて		361
96	がん診療連携拠点病院		368
97	がんに対する最新の治療		369
98	脳卒中予防と不整脈（心房細動）	脳卒中对策	380
99	rt-PA による血栓溶解療法と治療までの時間		381
100	虚血性心疾患及び脳血管疾患の動向	急性心筋梗塞対策	391
101	糖尿病について	糖尿病対策	400
102	糖尿病と歯周疾患		400
103	糖尿病治療における多職種連携		401
104	精神科救急について	精神疾患対策	410
105	発達障害支援について		410
106	認知症について		411

番号	コラム名	区 分	ページ
107	統合失調症について	感染症対策	412
108	感染症病床の陰圧化		424
109	抗インフルエンザウイルス薬の備蓄		424
110	DOTS（直接服薬確認法）		426
111	エイズ対策における個別施策層		432
112	レッドリボンについて		434
113	肝疾患診療相談センター		439
114	麻しんの排除		443
115	予防接種済率の普及		448
116	難病医療費の給付について	難病対策	451
117	今後の難病対策について		455
118	人工透析と医療費	慢性腎臓病（CKD）対策	459
119	たばことCOPD	慢性閉塞性肺疾患（COPD）対策	466
120	自殺対策基本法及び自殺総合対策大綱について	自殺対策	470
121	ゲートキーパーについて		475

信州保健医療総合計画における主な分野の概要一覧

番号	分 野	区 分	ページ
1	「歯科分野」	歯科保健	107
2	「がん対策」	がん対策	370
3	「高血圧（脳卒中）対策」	脳卒中対策	382
4	「心疾患対策」	急性心筋梗塞対策	392
5	「糖尿病対策」	糖尿病対策	402
6	「自殺対策」	自殺対策	476

別表

届出により一般病床を設置できる診療所

- 以下に掲げる診療所は、第5編第2章第3節「有床診療所の特例」に記載のある、届出により一般病床が設置できるものとされた診療所です。

(平成25年3月31日現在)

医療圏	診療所名	所在地
上 小	角田産婦人科内科医院	上田市上田 1210 番地 3
上 伊 那	駒ヶ根高原レディースクリニック	駒ヶ根市赤穂 759 番地 195

保健医療に関する相談窓口一覧

相談項目	相談内容	相談先	電話番号等	曜日時間等
健康づくりに 関する相談	健康づくりに関する相談	佐久保健福祉事務所	0267-63-3164	月～金 8:30～17:15
		上田保健福祉事務所	0268-25-7149	
		諏訪保健福祉事務所	0266-57-5656	
		伊那保健福祉事務所	0265-76-9977	
		飯田保健福祉事務所	0265-52-0812	
		〃 阿南支所	0260-22-2206	
		木曾保健福祉事務所	0264-24-2220	
		松本保健福祉事務所	0263-47-7831	
		大町保健福祉事務所	0261-23-6527	
		長野保健福祉事務所	026-225-0812	
		北信保健福祉事務所	0269-62-3107	
		長野市保健所（長野市民の方）	026-226-9966	
療養病床の再 編成に関する 相談	療養病床再編成に関する疑問、入院患者の介護に関する相談、介護施設等への転換に関する相談、介護保険適用の療養病床に関する相談	健康福祉部健康長寿課介護支援室	TEL 026-235-7111 FAX 026-235-7394	月～金 8:30～17:15
		佐久保健福祉事務所	0267-63-3140	
		上田保健福祉事務所	0268-25-7122	
		諏訪保健福祉事務所	0266-57-2910	
		伊那保健福祉事務所	0265-76-6810	
		飯田保健福祉事務所	0265-53-0411	
		木曾保健福祉事務所	0264-25-2218	
		松本保健福祉事務所	0263-40-1911	
		大町保健福祉事務所	0261-23-6507	
		長野保健福祉事務所	026-225-9085	
		北信保健福祉事務所	0269-62-3105	
	入院患者の医療に関する相談、医療保険適用の療養病床に関する相談、許可病床の種別変更に関する相談	健康福祉部医療推進課	TEL 026-235-7145 FAX 026-223-7106	
		佐久保健福祉事務所	0267-63-3162	
		上田保健福祉事務所	0268-25-7147	
		諏訪保健福祉事務所	0266-57-2925	
		伊那保健福祉事務所	0265-76-6835	
		飯田保健福祉事務所	0265-53-0442	
		木曾保健福祉事務所	0264-25-2231	
		松本保健福祉事務所	0263-40-1937	
		大町保健福祉事務所	0261-23-6525	
		長野保健福祉事務所	026-223-2131	
		北信保健福祉事務所	0269-62-3105	

相談項目	相談内容	相談先	電話番号等	曜日時間等
医療に関する相談	医療に関する心配ごと、悩みごとに関する相談	長野県医療安全支援センター	TEL 026-235-7145 FAX 026-223-7106	月～金 8:30～17:15
		佐久保健福祉事務所医療安全支援センター	0267-63-3162	
		上田保健福祉事務所医療安全支援センター	0268-25-7147	
		諏訪保健福祉事務所医療安全支援センター	0266-57-2925	
		伊那保健福祉事務所医療安全支援センター	0265-76-6835	
		飯田保健福祉事務所医療安全支援センター	0265-53-0442	
		木曾保健福祉事務所医療安全支援センター	0264-25-2231	
		松本保健福祉事務所医療安全支援センター	0263-40-1937	
		大町保健福祉事務所医療安全支援センター	0261-23-6525	
		長野保健福祉事務所医療安全支援センター	026-223-2131	
		北信保健福祉事務所医療安全支援センター	0269-62-3105	
				長野市医療安全支援センター (医療相談専用電話)
医師の就職に関する相談	医師の県内における就職の斡旋・仲介・コーディネーター業務	長野県ドクターバンク【健康福祉部医療推進課医師確保対策室内】	026-235-7144	月～金 8:30～17:15
国民健康保険に関する相談	国民健康保険に関する疑問や相談	健康福祉部健康福祉政策課 国保係	026-235-7096	月～金 8:30～17:15
休日・夜間の緊急医案内	休日・夜間の緊急医の案内 特に症状が重い場合は消防署に救急車を要請してください。	休日・夜間緊急医案内サービス（録音声又はファックス）	0570-088199	
小児救急電話相談	小児の病気やけがなどの救急医療に関する相談	小児救急電話相談	#8000（プッシュ回線・携帯電話の場合通話料無料） 0263-34-8000（アナログ回線・IP電話の場合）	毎日 19:00～23:00
児童虐待相談	児童虐待についての相談・通告	長野県児童虐待・DV24時間ホットライン	0263-91-2410	毎日、24時間

相談項目	相談内容	相談先	電話番号等	時間等
がんに関する相談	がんに関する悩みや心配ごとを始め、医療情報、地域の医療機関の紹介、セカンドオピニオンなどに関する様々な相談	佐久総合病院 がん相談支援センター	0267-82-3131	月～金 9:00～17:00
		諏訪赤十字病院 がん相談支援センター	0266-57-7502	月～金 9:00～16:00
		伊那中央病院 がん診療相談支援センター	0265-72-3121	月～金 8:30～17:15
		飯田市立病院 がん相談支援センター	0265-21-1255	月～金 8:30～17:15
		信州大学医学部附属病院 医療福祉支援センター	0263-37-3045	月～金 9:00～16:00
		相澤病院 がん患者・家族支援センター	0263-33-8600	月～金 10:00～16:00
		長野赤十字病院 がん相談支援センター	026-226-5513	月～金 9:00～16:30
		長野市民病院 緩和ケア・がん相談支援センター	026-295-1292	月～金 8:30～17:15
		信州上田医療センター がん相談支援センター	0268-22-1890	月～金 8:30～17:15
		県立木曽病院 がん相談支援センター	0264-22-2703	月～金 9:00～17:00
		安曇総合病院 がん相談支援センター	0261-62-3166	月～金 9:00～16:30 土 9:00～12:00
		北信総合病院 がん相談支援センター	0269-22-2151	月～金 8:30～17:00
不妊に関する相談	不妊治療等に関する情報提供、不妊に関する悩みの相談	不妊専門相談センター【長野県看護協会会館内】	0263-35-1012	
		・不妊専門相談員による相談		火・木 10:00～16:00
		・医師による相談		毎月第4木曜日 (要予約、電話番号 受付日時は上記)
肝疾患に関する相談	肝疾患に関する相談	肝疾患診療相談センター	0263-37-2922 (電話、FAX共用)	月～金 14:00～17:00

相談項目	相談内容	相談先	電話番号等	時間等
エイズ・性感染症の相談・検査	エイズ、その他の性感染症の相談・検査	エイズ・性感染症の相談・検査予約専用電話		月～金 8:30～17:15
		佐久保健福祉事務所	0267-63-3164	
		上田保健福祉事務所	0268-25-7149	
		諏訪保健福祉事務所	0266-57-5656	
		伊那保健福祉事務所	0265-76-9977	
		飯田保健福祉事務所	0265-52-0812	
		〃 阿南支所（相談のみ）	0260-22-2206	
		木曾保健福祉事務所	0264-24-2220	
		松本保健福祉事務所	0263-47-7831	
		大町保健福祉事務所	0261-23-6527	
		長野保健福祉事務所	026-225-0812	
		北信保健福祉事務所	0269-62-3107	
		長野市保健所（長野市民の方）	026-226-9966	
難病相談	難病に関する相談	長野県難病相談・支援センター	TEL 0263-34-6587 FAX 0263-34-6589	月～金 8:30～17:15
		佐久保健福祉事務所	0267-63-3164	
		上田保健福祉事務所	0268-25-7149	
		諏訪保健福祉事務所	0266-57-2927	
		伊那保健福祉事務所	0265-76-6837	
		飯田保健福祉事務所	0265-53-0444	
		木曾保健福祉事務所	0264-25-2233	
		松本保健福祉事務所	0263-40-1938	
		大町保健福祉事務所	0261-23-6526	
		長野保健福祉事務所	026-225-9045	
		北信保健福祉事務所	0269-62-6104	
		長野市保健所（長野市民の方）	026-226-9960	
		健康福祉部健康長寿課	026-235-7150	

相談項目	相談内容	相談先	電話番号等	時間等
精神保健福祉に関する相談	精神障害者社会復帰、思春期の心の問題、ひきこもり、心の健康づくり、発達障害等の相談	精神保健福祉センター (発達障害者支援センター) (ひきこもり支援センター)	026-227-1810	月～金 8:30～17:15
		佐久保健福祉事務所	0267-63-3164	
		上田保健福祉事務所	0268-25-7149	
		諏訪保健福祉事務所	0266-57-2927	
		伊那保健福祉事務所	0265-76-6837	
		飯田保健福祉事務所	0265-53-0444	
		木曾保健福祉事務所	0264-25-2233	
		松本保健福祉事務所	0263-40-1938	
		大町保健福祉事務所	0261-23-6527	
		長野保健福祉事務所	026-225-9045	
		北信保健福祉事務所	0269-62-6104	
		長野市保健所（長野市民の方）	026-226-9960	
精神科医療相談	緊急に精神科医療を必要とする方の相談	精神科救急情報センター 「りんどう」 (県立こころの医療センター 駒ヶ根)	0265-81-9900	毎日、24時間
心の電話相談	心の健康に関する相談	心の電話相談員による相談	026-224-3626	月～金 9:30～16:00

策 定 経 過

○ 長野県医療審議会

開催日	主な会議内容
① 平成 23 年 9 月 13 日	第 6 次長野県保健医療計画策定委員会の設置について
② 平成 24 年 2 月 10 日	第 6 次長野県保健医療計画の策定について（諮問）
③ 平成 25 年 2 月 1 日	第 6 次長野県保健医療計画案について（答申）

○ 長野県保健医療計画策定委員会

開催日	主な検討内容
① 平成 23 年 11 月 2 日	委員長選出、長野県の保健医療に係る現状把握
② 平成 24 年 2 月 10 日	ワーキンググループの体制及び検討事項の協議
③ 平成 24 年 5 月 22 日	二次医療圏設定について検討
④ 平成 24 年 7 月 12 日	二次医療圏設定の方向性を決定、計画の枠組みについて議論
⑤ 平成 24 年 9 月 14 日	各分野における検討状況の報告
⑥ 平成 24 年 11 月 16 日	計画素案の決定
⑦ 平成 25 年 2 月 1 日	計画案の決定

○ 長野県保健医療計画策定ワーキンググループ

ワーキンググループ	開催日	主な検討内容
救急・災害医療	① 平成 24 年 3 月 23 日	(各ワーキング共通) ① 座長選出、医療計画の概要及び国における見直しの方向性の把握 ② 分野ごとの現状把握と課題の抽出 ③ 圏域設定を含む連携体制（二次医療圏相互の連携体制）の検討並びに施策展開及び数値目標の検討 ④ 分野別計画素案の検討、決定
	② 平成 24 年 7 月 26 日	
	③ 平成 24 年 8 月 30 日	
	④ 平成 24 年 10 月 25 日	
小児・周産期医療	① 平成 24 年 3 月 26 日	
	② 平成 24 年 7 月 23 日	
	③ 平成 24 年 8 月 20 日	
	④ 平成 24 年 10 月 15 日	
がん・生活習慣病対策・在宅医療	① 平成 24 年 3 月 21 日	
	② 平成 24 年 7 月 20 日	
	③ 平成 24 年 8 月 22 日	
	④ 平成 24 年 10 月 22 日	
精神疾患・医薬	① 平成 24 年 3 月 19 日	
	② 平成 24 年 7 月 31 日	
	③ 平成 24 年 8 月 29 日	
	④ 平成 24 年 10 月 18 日	
医療従事者確保・へき地医療・歯科	① 平成 24 年 3 月 28 日	
	② 平成 24 年 7 月 18 日	
	③ 平成 24 年 8 月 24 日	
	④ 平成 24 年 10 月 26 日	

○ 健康グレードアップながの21推進会議

開催日	主な会議内容
①平成24年6月15日	・「健康グレードアップながの21」の評価及び改定について ・作業部会の設置について
②平成25年1月22日	・「健康グレードアップながの21」の改定案について ・信州保健医療総合計画について

部会	開催日	主な検討内容
栄養・運動	①平成24年8月30日	(各部会共通)
	②平成24年10月16日	
	③平成24年11月26日	
生活習慣病	①平成24年8月24日	① 部会長選出、「健康グレードアップながの21」の評価及び分野ごとの現状把握と課題の抽出
	②平成24年9月26日	
	③平成24年10月29日	
たばこ・アルコール	①平成24年8月17日	② 分野ごとの現状と課題の整理、計画素案の検討
	②平成24年10月25日	
	③平成24年11月12日	
すこやか親子	①平成24年9月10日	③ 分野ごとの計画素案の検討、決定
	②平成24年11月8日	
	③平成25年1月18日	

○ 長野県がん対策推進協議会

開催日	主な検討内容
①平成24年8月7日	がん及びがん対策の現状把握と課題の協議
②平成24年10月11日	次期長野県がん対策推進計画の骨子案の検討
③平成24年12月18日	次期長野県がん対策推進計画案の検討
④平成25年1月29日	次期長野県がん対策推進計画案の了承

○ 長野県自殺対策連絡協議会

開催日	主な検討内容
①平成24年6月8日	現行計画の評価及び次期自殺対策推進計画の内容について 計画策定部会の設置について
②平成24年11月22日	自殺総合対策大綱及び次期自殺対策推進計画(素案)について

○ 長野県自殺対策連絡協議会「自殺対策推進計画策定部会」

開催日	主な検討内容
①平成24年7月24日	現行計画の評価及び次期自殺対策推進計画の内容について
②平成24年9月6日	次期自殺対策推進計画の内容(保健医療計画等との一体化)について

○ 長野県感染症対策協議会

開催日	主な検討内容
① 平成 24 年 11 月 29 日	感染症の予防のための施策の実施に関する計画の一部改定案の検討

○ 長野県ウイルス肝炎診療協議会

開催日	主な検討内容
① 平成 24 年 9 月 8 日	肝疾患対策に関する計画の策定案の検討

○ 長野県歯科保健推進県民会議

開催日	主な検討内容
① 平成 24 年 6 月 18 日	長野県歯科保健推進計画と一体化する計画についての報告

○ 長野県医療費適正化市町村・保険者等協議会

開催日	主な検討内容
① 平成 24 年 7 月 17 日	医療費の現状、市町村・保険者における取組状況・課題の把握
② 平成 24 年 9 月 7 日	医療費適正化に向けた具体的な取組の検討
③ 平成 24 年 12 月 21 日	計画案の検討

○ 保健医療関連計画策定に関する合同会議

開催日	主な検討内容
① 平成 24 年 10 月 9 日	一体化する計画の構成、目指すべき姿等を検討
② 平成 24 年 12 月 14 日	一体化した計画案の検討

○ 県民等からの意見募集

区 分	期 間
パブリックコメント	平成 24 年 12 月 21 日 ～ 平成 25 年 1 月 21 日
医療法に基づく市町村・関係団体からの意見聴取	
高齢者の医療の確保に関する法律に基づく市町村への協議	

○ 調 査

調査名	調査時期	調査内容
県民医療意識調査	平成 24 年 2 月	県民の医療に対する意識の把握
医療機能調査	① 平成 24 年 8 月	病院、診療所の医療資源の保有状況等の把握
	② 平成 24 年 11 月	

委員名簿

○長野県医療審議会保健医療計画策定委員会（15名）（50音順、敬称略）

氏名	役職等	備考
天野直二	信州大学医学部附属病院長	
伊澤敏	厚生連佐久総合病院長	委員長代理
大塚宰	長野県薬剤師会長	
大西雄太郎	前長野県医師会長	任期：平成24年3月まで
笠原浩	松本歯科大学衛生学院長	
勝山努	長野県立病院機構理事長	委員長
亀井智泉	長野子ども療育推進サークル ゆうテラス代表	
清澤研道	長野赤十字病院長	
小池洌	長野県医師会常務理事	任期：平成24年5月から
坂井昭彦	昭和伊南総合病院事業管理者	
佐々木治夫	前長野県医師会副会長	任期：平成24年3月まで
白石直人	信州ぶらんこの会	
関健	社会医療法人城西医療財団 理事長・総長	
関隆教	長野県医師会長	任期：平成24年5月から
園原規子	長野県栄養士会長	
滝澤隆	長野県歯科医師会長	
三輪百合子	長野県看護協会会長	

任期：平成23年9月13日から平成25年2月1日まで

（平成25年2月1日現在）

○長野県保健医療計画策定ワーキンググループ（50音順、敬称略）

・救急・災害医療（7名）

氏名	役職等	備考
池内公雄	前長野県消防長会長	任期：平成24年3月まで
伊澤敏	厚生連佐久総合病院長	座長
岩倉宏明	長野県消防長会長	任期：平成24年5月から
岡元和文	信州大学医学部附属病院高度救命救急センター長	
神頭定彦	飯田市立病院救命救急センター長	
竹重王仁	長野県医師会常務理事	
中島和夫	長野県薬剤師会副会長	
古澤武彦	長野赤十字病院救急部長	

（平成24年10月25日現在）

・小児・周産期医療（9名）

氏名	役職等	備考
池上道子	長野県助産師会長	
亀井智泉	長野子ども療育推進サークル ゆうテラス代表	
木村 薫	厚生連篠ノ井総合病院長	
小池 健一	信州大学医学部小児科教授	
坂井 昭彦	昭和伊南総合病院事業管理者	座長
塩沢 丹里	信州大学医学部産婦人科教授	
白石 直人	信州ぶらんこの会	
中村 友彦	長野県立こども病院副院長 ・総合周産期母子医療センター長	
藤森 克之	長野県小児科医会会長	

（平成24年10月15日現在）

・がん・生活習慣病対策・在宅医療（11名）

氏名	役職等	備考
池田 宇一	信州大学医学部循環器内科学講座教授	
市川 彰	長野県理学療法士会長	
金子 和江	前長野県看護協会第一副会長	任期：平成24年3月まで
金子 源吾	飯田市立病院長	
清澤 研道	長野赤十字病院長	座長
小池 洌	長野県医師会理事	
駒津 光久	信州大学医学部糖尿病・内分泌代謝内科教授	
園原 規子	長野県栄養士会長	
塚田 修	長野県有床診療所協議会長	
長島 久	信州大学医学部附属病院脳血管内治療センター長	
樋口 千代子	長野県看護協会第一副会長	任期：平成24年4月から
日野 寛明	長野県薬剤師会副会長	

（平成24年10月22日現在）

・精神疾患・医薬（9名）

氏名	役職等	備考
天野 直二	信州大学医学部附属病院長	座長
遠藤 謙二	長野県精神科病院協会長	
大塚 幸	長野県薬剤師会長	
大森 栄	長野県薬剤師会副会長	
小泉 典章	長野県精神保健福祉センター所長	
郷津 米美	日本精神科看護技術協会長野支部長	任期：平成24年7月から
篠原 睦美	前日本精神科看護技術協会長野支部長	任期：平成24年5月まで
関 健	社会医療法人城西医療財団 理事長・総長	
寺井 直樹	長野県伊那保健福祉事務所長	
福田 隆	長野県精神保健福祉士協会会長	

（平成24年10月18日現在）

・医療従事者確保・へき地医療・歯科（9名）

氏名	役職等	備考
井口光世	長野県歯科医師会常務理事	
笠原浩	松本歯科大学衛生学院長	
勝山努	長野県立病院機構理事長	座長
上沢修	長野県立須坂病院副院長	
兒玉央	長野県医師会理事	
田中勝巳	木曾広域連合長（木曾町長）	
中澤勇一	信州大学医学部准教授	
三輪百合子	長野県看護協会会長	
村島隆太郎	佐久市立国保浅間総合病院長	

（平成24年10月26日現在）

○「健康グレードアップながの21」推進会議（24名）（順不同、敬称略）

氏名	役職等	備考
関健	長野県医師会副会長	会長
井口光世	長野県歯科医師会常務理事	
高田弘子	長野県薬剤師会常務理事	
樋口千代子	長野県看護協会副会長	
園原規子	長野県栄養士会長	
石井誠	日本健康運動指導士会長野支部顧問	
宮嶋典子	長野県歯科衛生士会副会長	
西村明雄	長野県調理師会長	
小松仁	長野県保健所長会諏訪保健所所長	
飯島俊勝	長野県保育園連盟会長	
中島峰子	長野県小学校長会長野市立芋井小学校長	
小山幸彦	長野県中学校長会長野市立篠ノ井西中学校長	
内山浩一	長野県高等学校長会長野県立須坂高等学校長	
三浦和博	長野県PTA連合会長野市立信州新町中学校長	
荒井高樹	長野県保険者協議会 長野県国民健康保険団体連合会常務理事	
上原明	全国健康保険協会長野支部長	
滝口和博	長野労働局労働基準部健康安全課長	
碓映雄	長野産業保健推進連絡事務所長 長野県事業場健康診断機関協議会長	
藤沢令子	長野県経営者協会教育研修部課長	
宮内文雄	長野県老人クラブ連合会長	
櫻井美智子	長野県保健補導員会等連絡協議会長	
六波羅弘美	長野県食生活改善推進協議会長	
菅谷昭	長野県市長会社会環境部会長	
大平利次	長野県町村会社会環境部会副部会長	

（平成25年2月1日現在）

○「健康グレードアップながの21」推進会議 部会（順不同、敬称略）

・栄養・運動（12名）

氏名	役職等	備考
横山 鉄夫	長野県医師会理事	
小笠原 憲子	長野県栄養士会常任理事	
梅垣 茂	日本健康運動指導士会長野支部支部長	
野見山 哲生	信州大学医学部衛生学公衆衛生学講座	部会長
根本 賢一	松本大学大学院健康科学研究科准教授	
坂井 ひとみ	長野県学校保健会栄養教諭・栄養職員部会副部会長	
塚田 典子	上松町住民福祉課管理栄養士	
平林 恭子	松本市健康福祉部健康づくり課課長補佐	
宮川 公子	長野県上田保健福祉事務所長	
宮島 京子	長野県北信保健福祉事務所健康づくり支援課担当係長	
小林 秀子	長野県教育委員会事務局保健厚生課担当係長	
飯嶋 政泰	長野県教育委員会事務局スポーツ課指導主事	

（平成24年11月26日現在）

・生活習慣病（13名）

氏名	役職等	備考
若林 透	長野県医師会常務理事	部会長
松本 栄江	長野県栄養士会常任理事	
峯 由美子	長野県産業看護研究会保健師	
中村 由美子	長野県保険者協議会長長野県国民健康保険団体連合会保健師	
神田 美恵	全国健康保険協会長野支部保健グループ長	
宮嶋 暢久	長野労働局労働基準部健康安全課主任労働衛生専門官	
多田 潤一	長野産業保健推進連絡諸産業保健推進員	
見村 武洋	長野県事業場健康診断機関協議会事務長	
大槻 ゆき子	成人病健診実施機関連絡協議会 JA 上伊那内厚生連南信事務所主任保健師	
三井 珠子	箕輪町保健福祉課主幹	
徳永 貞子	長野市保健所健康課係長	
小林 一司	長野県佐久保健福祉事務所長	
北原 弘子	長野県松本保健福祉事務所健康づくり支援課主査保健師	

（平成24年10月29日現在）

・たばこ・アルコール（11名）

氏名	役職等	備考
酒井 真英	長野県医師会監事	部会長
井原 むつ子	長野県薬剤師会理事	
樋口 千代子	長野県看護協会副会長	
田中 理絵	長野県学校保健会養護教諭部会副会長	
宮嶋 暢久	長野労働局労働基準部健康安全課主任労働衛生専門官	
藤沢 令子	長野県県営社協会教育研修部課長	
春原 美枝	小諸市保健福祉部保健課技術主任	
小林 一司	長野県佐久保健福祉事務所長	
小野 希代子	長野県飯田保健福祉事務所健康づくり支援課担当係長	
上倉 里恵	長野県木曾保健福祉事務所健康づくり支援課保健師	
松村 真一	長野県教育委員会事務局保健厚生課指導主事	

（平成24年11月12日現在）

・すこやか親子（10名）

氏名	役職等	備考
清水 嘉子	長野県看護大学学部長	
片岡 啓子	長野県助産師会顧問	
宮原 玲子	塩尻市健康づくり課保健予防係長	
島田 尚子	長野市保健所健康づくり係長	
白井 祐二	長野県北信保健福祉事務所長	部会長
松本 清美	長野県上田保健福祉事務所 健康づくり支援課保健衛生係長	
小林 ゆかり	長野県長野保健福祉事務所 健康づくり支援課予防衛生係専門幹兼担当係長	
宮沢 秀一	長野県中央児童相談所家庭支援課長	
小出 まゆみ	長野県教育委員会事務局保健厚生課主任指導主事	
阿部 徹	長野県企画部企画課担当係長	

（平成25年1月18日現在）

○長野県がん対策推進協議会（18名）（順不同、敬称略）

氏名	役職等	備考
重信 みどり	NPO法人 ラ・ヴィアン・ローズ	
田島 悦子	ブナの会（がん患者・家族・遺族の会）	
宮川 信	飯田市立病院名誉院長	会長
菅沼 哲夫	長野県医師会常務理事	
天野 直二	信州大学医学部附属病院長	副会長
羽田 明廣	長野県歯科医師会専務理事	
大塚 幸	長野県薬剤師会会長	
三輪 百合子	長野県看護協会会長	
園原 規子	長野県栄養士会会長	
水本 正俊	長野県経営者協会専務理事	
根橋 美津人	日本労働組合総連合会長野県連合会事務局長	
関 隆教	長野県健康づくり事業団理事長	
滝沢 信子	長野県保健補導員会等連絡協議会代議員	
六波羅 弘美	長野県食生活改善推進協議会会長	
松野 賢衛	長野県学校保健会専務理事	
滝口 和博	長野労働局健康安全課長	
菅谷 昭	長野県市長会社会環境部会長（松本市長）	
矢ヶ崎 克彦	長野県町村会社会環境部会長（辰野町長）	

（平成25年1月1日現在）

○長野県感染症対策協議会（12名）（順不同、敬称略）

氏名	役職等	備考
岡田 啓治	長野県医師会副会長	会長
竹重 王仁	長野県医師会総務理事	会長代理
菅沼 哲夫	長野県医師会常務理事	
久保 恵嗣	信州大学医学部教授	
岩崎 康	まつもと医療センター中信松本病院統括診療部長	
松岡 高史	松岡小児科医院院長	
飯田 就一	長野県歯科医師会常務理事	
三輪 百合子	長野県看護協会会長	
山崎 善隆	長野県立須坂病院感染制御部長	
渡辺 明	松本市健康福祉部長	
河手 潤子	辰野町保健福祉課課長補佐	
鳥海 宏	長野県松本保健福祉事務所長	

（平成25年1月1日現在）

○長野県自殺対策連絡協議会（25名）（順不同、敬称略）

氏名	役職等	備考
天野直二	信州大学医学部附属病院長	委員長
横山伸	長野赤十字病院精神科部長	
関健	長野県医師会副会長	
宮下将吾	長野県弁護士会弁護士	
水本正俊	長野県経営者協会専務理事	
黒柳浩樹	連合長野副事務局長	
小平武	長野県民生児童委員協議会副会長	
山田祐司	長野いのちの電話理事長	
滝口和博	長野労働局健康安全課長	
碓暎雄	長野産業保健推進連絡事業所所長	
中澤勝仁	長野県市長会事務局次長	
倉石剛佳	長野県町村会参事兼総務課長	
荻原敬一	長野県消防長会副会長	
工藤哲也	長野県臨床心理士会会長	
南方英夫	長野県看護協精神科看護師長	
和田洋子	長野県司法書士会理事	
川俣伸枝	長野県精神保健福祉士協会理事	
郷津米美	日本精神科看護技術協会長野県支部長	
高田弘子	長野県薬剤師会常務理事	
小松仁	長野県保健福祉事務所長会	
小泉典章	長野県精神保健福祉センター所長	
		その他県関係部局職員4名

(平成24年11月22日現在)

○長野県自殺対策連絡協議会「自殺対策推進計画策定部会」（10名）（順不同、敬称略）

氏名	役職等	備考
関健	長野県医師会副会長	部会長
横山伸	長野赤十字病院精神科部長	
高田弘子	長野県薬剤師会常務理事	
福田隆	長野県精神保健福祉士協会会長	
宮下将吾	長野県弁護士会貧困問題対策本部本部長代行	
水本正俊	長野県経営者協会専務理事	
宮島暢久	長野労働局主任労働衛生専門官	
春原美枝	小諸市主任保健師	
唐澤勝浩	箕輪町健康づくり支援係長	
小泉典章	長野県精神保健福祉センター所長	

(平成24年9月6日現在)

○長野県ウイルス肝炎診療協議会（7名）（順不同、敬称略）

氏名	役職等	備考
清澤 研道	長野赤十字病院院長	会長
有坂 登	ふきのとう会長	
田中 榮司	信州大学医学部内科学第二講座教授	
宜保 行雄	宜保内科 消化器・肝臓内科クリニック院長	
小池 ゆり子	川中島クリニック副院長	
橋倉 泰彦	長野県立病院機構 本部研修センター 副研修センター長	
市川 斎	こまくさ会会長	

○長野県歯科保健推進県民会議（21名）（順不同、敬称略）

氏名	役職等	備考
井口 光世	長野県歯科医師会常務理事	会長
赤羽 隆	長野県歯科医師会常務理事	
小池 洌	長野県医師会常務理事	
高田 弘子	長野県薬剤師会常務理事	
丸山 安基子	長野県歯科衛生士会長	
田中 勝實	長野県歯科技工士会長	
樋口 千代子	長野県看護協会副会長	
園原 規子	長野県栄養士会長	
小林 美穂子	学校保健会養護教諭部会長	
成田 守夫	長野県歯科衛生士養成校協議会長	
荒井 高樹	長野県保険者協議会常務理事	
碓 映雄	長野産業保健推進連絡事務所長	
滝口 和博	長野労働局労働基準部健康安全課長	
轟 一郎	長野県経営者協会労務管理委員会委員	
中島 謙二	NPO法人長野県高齢者福祉協会副会長	
佐藤 正雄	長野県身体障害者施設協議会長	
牧 茂	松本歯科大学教授	
水上 紀代子	長野県保健補導員会等連絡協議会副会長	
六波羅 弘美	長野県食生活改善推進協議会長	
菅谷 昭	長野県市長会社会環境部会長	
大平 利次	長野県町村会社会環境部会副会長	

○長野県医療費適正化市町村・保険者等協議会（12名）（順不同、敬称略）

氏名	役職等	備考
大塚 隆	長野県後期高齢者医療広域連合給付課給付係長	座長
西澤 頼雄	全国健康保険協会長野支部企画総務グループ長	
中澤 卓	健康保険組合連合会長野連合会 長野県農業協同組合健康保険組合健康推進課長	
尾形 誠	長野県国民健康保険団体連合会審査管理課課長補佐	
若林 昭	上田市国保年金課国民年金係長	座長代理
伊藤 彩	岡谷市健康推進課保健指導係保健師	
森本 優美子	飯田市保健課保健指導係保健師	
小橋 俊樹	中野市福祉課国保医療係長	
古畑 洋子	御代田町保健福祉課健康推進係長	
酒井 徳子	箕輪町保健福祉課国保医療係長	
下野 昌弘	大桑村住民課住民係長	
関谷 美智代	高山村村民生活課保健予防係長	

（平成24年12月21日現在）



（長野県医療審議会保健医療計画策定委員会）

信州保健医療総合計画 ～「健康長寿」世界一を目指して～

平成 25 年 3 月発行

編集発行 長野県健康福祉部

〒380-8570 長野県長野市大字南長野字幅下 6 9 2-2

健康福祉政策課

電話：026-235-7093

FAX：026-235-7485

E-mail：kenko-fukushi@pref.nagano.lg.jp

長野県ホームページアドレス：<http://www.pref.nagano.lg.jp/>